

第6回全国精神保健福祉家族大会

みんなねっと大阪大会

● 家族も自分の人生を
生きることが大切

● 本人・家族の安心に
つながる支援の
実現を



● 家族の元気が、
当事者の元気に
つながる

● 「早期支援」と
「アウトリーチ」の実現を

家族支援の実現と精神保健福祉の向上を!

- 会 期 2013年 **9月9日**(月)・**10日**(火)
- 会 場 **大阪国際会議場**(グランキューブ大阪)
- 参加費 3,000 円 (当事者 500 円、学生 1,000 円)
- 主 催 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会
社団法人大阪府精神障害者家族会連合会

ごあいさつ

第6回全国精神保健福祉家族大会 みんなねっと大阪大会

6回目のみんなねっと全国大会を大阪で迎えるに際し、ご挨拶申し上げます。

ここ数年の障害者制度改革の動きの中で、私たちは学習したことがあります。それは私たちが声をあげることが大切だということです。声の大きい人の意見が通りやすいことを経験しました。精神障がい者とその家族はまだ偏見社会に生きていて、なかなか声が出せず生活しているのが現状です。今回の制度改革の概念には、障害者も健常者と同じように地域で暮らす権利があると謳われました。

まずは偏見のない社会を作ることが求められています。精神疾患に関しては、近年の研究にはめざましいものがあります。副作用の少ない薬の開発は、精神障がい者の社会参加を促進させています。また、精神障がい者のための制度も作られ、徐々にではありますが、回復への環境が作られてきています。本人自身も隠さない生き方をするようになってきました。就労の場でも、適切な支援を受け、精神障がい者が生き生きと仕事ができるようになってきました。このように、一昔前とは状況が変化しています。私たち家族の考えも変えていかなくてはならないと思います。偏見とは誤解から生じると言われます。精神障がい者の正しい理解を広め、偏見をなくするのは私たちの役割だと思います。隠すことなく生きていくことです。

一方で、私たちの望むことは本人の自立です。自立とは必ずしも仕事をして収入を得ることではないと思います。日常生活を一人でやれることが大切です。そのための支援策が必要で、それは制度化されなくてはなりません。24時間の相談支援、訪問型の支援など、家族会としてはこうした支援を強く要望しています。高齢化した家族が本人を支えるには限界がきています。家族に依存しないで、社会が精神障がい者を支えることが家族会の長年の願いです。

必要な制度を充実させるために、これからはさらに声を大きくして実現に向かっていきたいと思います。

公益社団法人
全国精神保健福祉会
理事長 川崎 洋子



大阪大会の開催にあたって

ごあいさつにあたって、全国から多くの家族と関係者が、第6回全国精神保健福祉家族大会（みんなねっと大阪大会）へ参加されることを期待し、また、お願いしたいと思います。

今回の大会では、1日目は、シャイアーズさんによる「特別講演」と藤井克徳さんによる「基調講演」により、全国の家族が、その想いを共有するとともに、今後の展望についても深めることを願っています。

2日目は、6つの分科会において、それぞれのテーマについて全国の家族・当事者の経験を柱にして、交流を深める場にしたいと企画しました。各分科会のコーディネータの個性あふれる進行も楽しみです。また、菊山先生の「特別講座」は、基調公演にも位置づけられるものですが、特に第7分科会として設定しました。

次に、大阪大会に参加される会員の皆様へのお勧めは、関西の歴史と自然の資源に触れ、気分も新たに旅を楽しんで頂くことです。2日目の午後の時間または1日余分に時間を取って、お出かけください。『学びとともに素敵な旅を！』

最後に、ターミナルから大会会場へのアプローチについて、「ちょっと一言」。大阪は交通至便の地ではありますが、初めての方や比較的高齢の方が移動するには、乗り換えなどで難儀される場面も多いかと思われます。例えばJR新大阪駅からは、いろんなルートが考えられますが、残暑厳しい9月でもありますから、2、3人の相乗りでのタクシー利用もお勧めです。

社団法人
大阪府精神障害者家族会連合会
会長 倉町 公之



開催要項

～ 家族支援の実現と精神保健福祉の向上を！ ～

趣 旨

昨年11月、茨城県つくば市で開催された第5回全国精神保健福祉家族大会において、佐藤純氏による講演「私たちの求める家族支援」を聞き、改めて私たちは、家族の置かれている現状と課題、その解決への方向を学びました。

その中で語られたイギリスにおける精神保健医療改革には、私たちの求める社会による家族支援が実現されています。わが国における家族支援をより現実的なものになりたい、そういう思いから、本大会には、特別ゲストとしてイギリスからデイビッド・シャイアーズ医師をお迎えすることとしました。

娘さんの統合失調症ケアの悲惨な体験を声に出し、十数年前から、イギリスの精神保健医療の改革を推進した同氏に、イギリスにおける家族支援の実際について講演していただきます。

この数年間、障がい者制度改革推進会議などにおいて、障害者制度改革の論議が重ねられ、その中で私達は、精神保健福祉の現状と課題について認識を深めることが出来ました。その後、障害者基本法の改正、障害者総合支援法の制定等ありましたが、昨年末の政権交代により、今後、障害者制度改革がどのように推移するかは分かりません。

今大会では、これまでの論議で明らかになった精神保健福祉の現状と課題について再度整理して、共生社会の実現につなぐものになりたいと考えます。この観点から、前障がい者制度改革推進会議議長代理として、これまでの審議・検討をリードされてこられた藤井克徳氏に、精神保健福祉の現状と課題について基調講演をしていただきます。

西の中心地大阪に多くの人が集い、大いに議論を積み重ねましょう。当事者や各障害者などがこれまで培ってきた大阪らしさ、関西らしさを盛り込んで、実りある楽しい大会を目指してまいります。

また、近郊には、歴史と自然に恵まれた観光資源も多数ひかえています。
学びとともに素敵な旅を！ 全国から多くの皆さまの参加をお待ちしています。

- 主 催 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会
社団法人大阪府精神障害者家族会連合会
- 会 期 2013年9月9日(月)・10日(火)
- 会 場 大阪国際会議場(グランキューブ大阪)



日 程

第1日目 9月9日(月)

時 間	内 容
10:30	受 付
11:20	オープニングアトラクション
11:50	休 憩
12:00	開 会 式 開会のことば 主催者あいさつ 来賓祝辞 来賓・祝電紹介
12:45	休 憩
13:00	特別講演 テーマ「イギリスにおける精神疾患への早期介入」 ～私たち家族の回復への道のりから～ 講 師：デイビッド・シャイアーズ氏 統合失調症の娘をもつ精神科医
14:40	活動報告 テーマ「制度改革にみる家族の在り方と今後の課題」 講 師：川崎洋子氏 公益社団法人全国精神保健福祉会連合会理事長
15:10	休 憩
15:30	行政報告 厚生労働省
16:00	基調講演 テーマ「精神保健福祉の現在・過去・未来」 ～権利条約、制度改革の論議からみえてきたもの～ 講 師：藤井克徳氏 日本障害フォーラム（JDF）幹事会議長 内閣府障害者政策委員会委員長代理
17:20	終 了
18:00	懇 親 会 リーガロイヤルホテル「光琳の間」

第2日目 9月10日(火)

時 間	内 容
9:00	受 付
9:30	分 科 会 第1分科会 家族の力、家族会の力 ～経験と思いから生み出される活動の魅力と可能性～ 第2分科会 私たちが求める家族支援 ～「少し工夫すると実現できそうな家族支援」 から「さらに求めたい家族支援」まで～ 第3分科会 早期支援と教育 ～こころの健康を育むために～ 第4分科会 地域の暮らしを考える ～「豊かに生きる」を当たり前にするために～ 第5分科会 当事者活動 ～支え支えられ・お互いさま～ 第6分科会 就労を考える ～働く事はリハビリテーション!!～ 第7分科会 特別講演 菊山裕貴氏 テーマ「単一精神病論」 ～統合失調症と躁うつ病と 再発を繰り返すうつ病は同じ病気?～
11:30	休 憩 ・ 移 動
11:45	閉会式 分科会報告 大会宣言 次期開催地挨拶 石川県 閉会のあいさつ

全体会 9月9日(月)

オープニングアトラクション

11:20～11:50

横島若騎氏によるピアノ演奏

「第4回精神障害者自立支援活動賞(リリー賞)精神障害者部門」受賞

統合失調症の日本で唯一のプロのピアニストそしてバストロンボーンおよびリュート奏者としての活動が認められました。

開会式

12:00～12:45

開会のことば

主催者あいさつ

来賓祝辞

来賓・祝電紹介

特別講演

13:00～14:40

「イギリスにおける精神疾患への早期介入」

～私たち家族の回復への道のりから～

講師：デイビッド・シャイアーズ氏

【略歴】

開業医 (1980～2002)

英国精神保健初期介入施策にかかわる (2004～2010)

英国統合失調症監査会臨床顧問 (2010～現在)

国立保健および社会的ケア研究所における統合失調症のある人へのガイドランス部門委員 (2011～現在)

私は精神科医、妻は看護師として活動しています。私たちの娘メアリーは統合失調症にかかり、急性期における6ヶ月間の辛い入院の後、リハビリテーション施設に2年間入所しました。この期間は彼女にとって何ら治療や回復に向かうものではなく、私たち夫婦には失望以外の何ものでもありませんでした。このことが私に国家早期支援開発プログラムに関わるきっかけとなり、現在ではこのプログラムは世界に認められ、世界精神保健早期支援宣言を掲げるに至っており、娘メアリーは今では支援を得て地域社会で暮らしています。この早期支援開発プログラムについてお話します。

活動報告

14:40～15:10

「制度改革にみる家族の在り方と今後の課題」

講師：川崎洋子氏

公益社団法人 全国精神保健福祉会理事長

平成22年からはじまった障がい者制度改革で、私たち家族会が訴え続けたことは、精神障がい者とその家族に対して、他障害者との制度上の格差を無くし、精神障がい者への社会の偏見を取り除くことでした。「精神保健福祉法」改正では、他障害にはない保護者制度の廃止を要望し、「障害者雇用促進法」改正では、いままで身体と知的障害者だけを対象としていた雇用義務を精神障がい者にも適用することを改正案に盛り込みました。これらは私たちの状況を変える第一歩です。これから私たちに真に必要なサービスが受けられるような地域での仕組みが必要で、そのための活動を皆様と共に続けたいと思います。

行政報告

15:30～16:00

厚生労働省**基調講演**

16:00～17:20

**「精神保健福祉の現在・過去・未来」
～権利条約、制度改革の論議からみえてきたもの～**

講師：藤井克徳氏

日本障害フォーラム(JDF)幹事会議長

内閣府障害者政策委員会委員長代理

他の国と比べて、他の障害と比べて、同年齢の市民の暮らしぶり比べて、精神面に障害のある人の状態は依然として立ち遅れています。そんな中で、新たな時代の到来を予感させる動きが芽生えています。これを象徴するものとして、国連での障害者権利条約の制定や国内における障がい者制度改革推進会議（現在は障害者政策委員会）などがあげられます。問題は、これらの動きが精神障害分野の好転にどう影響するかですが、結論から言えばそれほど甘くはありません。好機を確実に生かしていくために、家族会はどうあるべきか、そして私たち一人ひとりに問われるものは…。

分科会 9月10日(火) 9:30~11:30

第1分科会

家族の力、家族会の力

～経験と思いから生み出される活動の魅力と可能性～

「家族（会）だからできること・家族（会）にしかできないこと」。それが、固有性に富む活動だといえます。家族は、支援を一方的に受ける存在ではなく、自分及び自分たちの経験や、これまでの思いを通して、多様な活動を展開しています。その活動の源にあるのは、「我がことのように」という、同じ家族としての仲間意識です。なかでも、家族のニーズを考えたいうでの、創意と工夫をした取り組みは、家族会活動の求心力にもなります。

そのような考えのもと、分科会1では、多様な取り組みをしている3つの家族会の取り組みを紹介します。そして、家族・家族会が活動することの魅力と可能性について、みんなで考えあい、参加される方々に元気になっていただければと願っています。

コーディネーター : 青木 聖久 日本福祉大学 教授
 問題提起者 : 河上 紀子 兵庫県精神福祉家族会連合会
 川辺 慶子 家族SST交流会（大阪府）
 堀場 洋二 名古屋市精神障害者家族会連合会
 司 会 : 小椋 芳子 大阪府精神障害者家族会連合会相談役

第2分科会

私たちが求める家族支援

～「少し工夫すると実現できそうな家族支援」から「さらに求めたい家族支援」まで～

家族はどんな支援を求めているのでしょうか。家族は、支援者のどういう言動に傷つき、どういう支援に励まされているのでしょうか。そして、さらにどのような支援があれば少しは前向きになれるのでしょうか…。この分科会では、実は支援者の前ではなかなか言えない「家族の本音」をもとに、精神に「障がい」のある人とその家族が求めている支援を、まずは「少し工夫すると実現できそうな家族支援」と「さらに求めたい家族支援」という観点から、「私たちの求める家族支援」を考えていこうと思います。

コーディネーター : 佐藤 純 京都ノートルダム女子大学 准教授
 問題提起者 : 岡田 久実子 さいたま市精神障がい者もくせい家族会
 静 津由子 京都精神保健福祉推進家族会連合会
 木村 瑛子 大阪府精神障害者家族会連合会
 司 会 : 大島 信雄 和歌山県精神保健福祉家族会連合会元会長

第3分科会

早期支援と教育

～こころの健康を育むために～

第3分科会のテーマである『早期支援と教育』は、みんなねっとの大会で初めて取り上げられたテーマです。「思春期の危機」という言葉にみられるように、思春期は身体的・心理的・社会的な変化がみられ、様々なバランスが崩れやすい時期にあります。しかし、学校教育において、「こころの健康」や「こころの健康」のバランスを崩した時の知識や対処方法、「こころの病気」について学ぶ機会はほとんどありません。そこで、本分科会では、学校教育における「こころの健康」教育やそのバランスを崩した時の早期支援に関して、保護者の立場、支援者の立場、教育者の立場から、各々の思いや取り組みを紹介して頂きます。皆様のご経験から、学校教育に必要とされる支援や教育について考えてみましょう。

コーディネーター	：	栄 セツコ	桃山学院大学 教授
問題提起者	：	前川 早苗	三重県立こころの医療センター ユース・メンタルサポートセンターMIE
	：	松永 貴久美	特定非営利活動法人こころ・あんしんLight（兵庫県）
	：	正岡 茂明	元兵庫県立高等学校校長
司 会	：	仲田 昭七	奈良県精神障害者家族会連合会会長

第4分科会

地域の暮らしを考える

～「豊かに生きる」を当たり前にするために～

地域で暮らすとは、ただ入院していない状態を指すのではありません。地域社会の中で、年齢に応じたさまざまな体験をしながら、いろいろな人と出会い、自分らしい暮らしを展開することです。障害があってもその人らしく生活するために、支える側は何を大切にすべきか、どう生活を捉えるのか、共に考える分科会にしたいと思います。「入院生活よりはマシ」ではなく、精神障害者であっても豊かに生きるということが当たり前になることを願い、「とことん寄り添う支援を創る」「支援のネットワークを創る」「スポーツを通して豊かな暮らしを創る」という視点から、興味深い実践報告をご用意しました。ご期待ください。

コーディネーター	：	三田 優子	大阪府立大学 准教授
問題提起者	：	菅野 治子	社会福祉法人朋志美会しののめハウス（大阪府）
	：	河野 和永	NPO法人陽だまりの会（大阪府）
	：	藤本 綾子	麦の郷紀の川・岩出生活支援センター（和歌山県）
	：	真庭 大典	新阿武山病院（大阪府）
司 会	：	野地 芳雄	京都精神保健福祉推進家族会連合会会長

第5分科会

当事者活動

～支え支えられ・お互いさま～

「あなた、支える人」、「私、支えられる人」。精神障害を抱える本人とその家族は専門職と当事者との間に生じる、そんな一方的な関係を覆してきました。当事者同士の「あなたと私」の共通する体験が接着剤となって、あなたと私がつながります。精神障害を抱えて生きる暮らしにくさ、その中で見出す生きる喜びなどの語りから生まれる相互の支え合いは、お互いさま旋風を巻き起こしてきました。本日はそんな人たちの体験談に耳を傾けます。

コーディネーター : 中田 智恵海 佛教大学 教授
 問題提起者 : 湊 高広、理恵 (京都府)
 渡口 泰子 ドリームファクトリー (兵庫県)
 谷口 弘樹 出前はあと (大阪府)
 話題提供者 : 岩田 豊子 うつ病のセルフヘルプグループ「曇りのち晴れ」(兵庫県)
 司 会 : 本條 義和 兵庫県精神福祉家族会連合会会長

第6分科会

就労を考える

～働く事はリハビリテーション!!～

人生の主人公として一度きりの人生を威風堂々と歩んでいただきたい。
 平成25年4月より障害者の法定雇用率が2.0%に、そして精神障害者の雇用義務化も決定される中、多くの精神障害のある人たちが、病気を開示して企業で戦力として働いている。
 働くまでの困難、働いてからの苦労や喜びなどから社会における自身の存在価値を感じ、それが自信になり自らの人生を自らの足で歩まれている当事者の赤裸々な語りは、当事者や家族の方に勇気と希望を与えることになると思います。
 また、就労支援者からは就労への道のり、継続就労への支援について実際の現場での話をお聞きしたいと
 思います。

コーディネーター : 金塚 たかし JSN門真 統括所長 (大阪府)
 問題提起者 : 目良 賢治 NPO法人Flat・きた (大阪府)
 田井 みゆき NPO法人ノンラベル (京都府)
 司 会 : 尾畑 聡英 滋賀県精神障害者家族会連合会理事長

第7分科会 特別講演

「単一精神病論」

～統合失調症と躁うつ病と再発を繰り返すうつ病は同じ病気？～

統合失調症と躁うつ病と再発を繰り返すうつ病は同じ遺伝子多型が関与し、抗精神病薬もMood stabilizersも抗うつ薬も同じ神経保護作用を持つことが示されている。精神病は強迫性障害や不安障害を併発することが多いが、強迫性障害や不安障害に使用される薬剤は抗うつ薬である。これらは本当に違う病気なのだろうか、NIRSにより疾患鑑別が可能ないように思われているが本当に鑑別可能なのだろうか。

講師：菊山裕貴氏

大阪医科大学神経精神医学教室

大阪精神医学研究所 新阿武山病院 医師

司 会： 藤井 明人 大阪府精神障害者家族会連合会理事

後援団体(予定・順不同)

後援団体・全国

内閣府
厚生労働省
社会福祉法人 全国社会福祉協議会
独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
全国精神保健福祉センター長会
全国保健所長会
特定非営利活動法人 全国精神障害者団体連合会
公益社団法人 日本てんかん協会
社団法人 日本自閉症協会
公益社団法人 全日本断酒連盟
社会福祉法人 全日本手をつなぐ育成会
社会福祉法人 日本身体障害者団体連合会
公益社団法人 日本精神保健福祉連盟
公益財団法人 日本障害者リハビリテーション協会
公益財団法人 日本精神衛生会
公益社団法人 日本精神科病院協会
公益社団法人 日本精神神経科診療所協会
NPO法人 全国精神障害者地域生活支援協議会
きょうされん
社団法人 日本社会福祉士会
全国精神保健福祉相談員会
社団法人 日本精神科看護技術協会
公益社団法人 日本精神保健福祉士協会
NPO法人 全国精神障害者就労支援事業所連合会
一般社団法人 日本作業療法士協会
社会福祉法人 NHK厚生文化事業団
社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団
社会福祉法人 読売光と愛の事業団
社会福祉法人 中央共同募金会
財団法人 日本チャリティ協会
公益財団法人 明治安田こころの健康財団
精神科臨床薬学研究会

後援団体・府内

大阪府
大阪市
堺市
大阪府教育委員会(第3分科会のみ)
大阪府社会福祉協議会
大阪府医師会
大阪精神科病院協会
大阪精神科診療所協会
大阪府歯科医師会
大阪府薬剤師会
大阪府病院薬剤師会
大阪社会福祉士会
大阪精神保健福祉士協会
大阪府看護協会
日本精神科看護技術協会大阪支部
大阪府作業療法士会
大阪精神保健福祉協議会
精神障害者社会復帰促進協会

大阪精神障害者連絡会
大阪障害フォーラム(ODF)
大阪府身体障害者福祉協会
大阪府視覚障害者福祉協会
大阪聴力障害者協会
障害者の自立と完全参加を目指す大阪連絡会
大阪手をつなぐ育成会
大阪府肢体不自由者協会
大阪脊髄損傷者協会
障害児(者)を守る全大阪連絡協議会
日本てんかん協会大阪府支部
日本喉摘者団体連合会
日本筋ジストロフィー協会
大阪府断酒会
大阪府自閉症協会
大阪障害者自立支援協会
きょうされん大阪支部
日本労働組合総連合会大阪府連合会(連合大阪)
全大阪労働組合総連合(大阪労連)
読売新聞社大阪本社
産経新聞大阪本社
毎日新聞大阪本社

大会参加・宿泊等のご案内

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度「みんなねっと大阪大会」が大阪市において開催されますことを心よりお慶び申し上げます。全国各地より参加される皆様方のご便宜を図るため、首記大会の参加登録・宿泊・観光等の業務をJTB西日本大阪中央支店が担当させていただくことになりました。

大会のご成功に向け、スタッフ一同努力する所存でございますので、皆様のお申し込みを心よりお待ちしております。

敬具

平成25年6月吉日

JTB西日本大阪中央支店

1. 申し込みのご案内について

(1) 参加種別及び参加費

【参加種別】 ①家族 ②当事者 ③一般 ④行政 ⑤学生

【参加費(資料含む)】

①家族／③一般／④行政	3,000円
②当事者	500円
⑤学生	1,000円

◎参加ご希望の方は、申込書の参加種別欄に○印をご記入ください。

※「学生」とは学校教育法に定める学生を指します。

(2) 分科会参加の申し込み

◎分科会参加ご希望の方は、申込書の分科会欄に申し込み番号をご記入ください。

【参加種別】 申込番号① 第1分科会 家族の力、家族会の力
 申込番号② 第2分科会 私たちが求める家族支援
 申込番号③ 第3分科会 早期支援と教育
 申込番号④ 第4分科会 地域の暮らしを考える
 申込番号⑤ 第5分科会 当事者活動
 申込番号⑥ 第6分科会 就労を考える
 申込番号⑦ 第7分科会 特別講演「単一精神病論」
 講師 菊山裕貴氏

◎分科会お申し込みはお一人様1件とさせていただきます。

◎分科会希望欄には、必ず第2希望までご記入ください。尚会場の収容人数の都合によりご希望に添えない場合がございますのでご了承ください。

(3) 申込方法

- ページの申込書に必要事項をご記入の上、FAXまたは郵送にてお申し込みください。
- お申し込み内容に変更が発生した場合は、申込書に加筆訂正の上、弊社にFAXをお願い申し上げます。(申込書の控えを必ず保管してください。)
 - ※お電話による申し込み・変更等は誤扱い防止のため、お断りしております。ご了承ください。
- お申し込みの手配につきましては、原則としてお申し込み順とさせていただきますので、お早めにお申し込みください。
- 予約内容の変更・取り消しにつきましては、営業時間内の受付とさせていただきますので、予めご了承ください。
- ご請求は申込代表者様に発送させていただきます。請求先(名)が異なる場合は申込書を分けてお申し込みください。

(4) 申込締切日

平成25年 8月1日(木) 必着

(5) クーポンの発送及びお支払いについて

- お申し込みの締切後、まずは申込回答書をFAXにて送信させていただきますので、お申し込み内容と相違がないか必ずご確認ください。
- 大会開催日の2週間前に大会参加証・分科会参加証・懇親会参加証・宿泊確認証・請求書・交通手配(JR券・航空券等)・ホテルパンフレット等をお送りさせていただきます。
- 旅行代金は請求書記載の銀行口座へ指定日までにお振り込みください。
 - ※銀行振込手数料はお客様ご負担となります。予め、ご了承ください。
- 大会開催日の1週間前になりましても、宿泊確認書・請求書等が到着しない場合は、お手数ですが弊社大会担当までお問い合わせください。
- 領収書が必要なお客様は、予め申込書のお客様通信欄に「領収書必要」及び「宛名」をご記入のうえ、お申し込みください。

(6) 個人情報について

- お預かりしました個人情報は、「個人情報の保護に関する法律」並びに「当社個人情報保護方針」に基づき、漏洩、不正利用、改ざんなどのないよう適正な管理に努めます。また、保有の必要がなくなった個人情報については確実に速やかに消去いたします。

(7) 申込先

〒541-0055 大阪府中央区船場中央2丁目1番地

船場センタービル4号館3階(堺筋)

JTB西日本 大阪中央支店「みんなねっと大阪大会」担当

担当/吉村 和美(よしむら かずみ)・東 芳樹(あずま よしき)

営業時間/月～金曜日 9:30～17:30 (休業日:土・日・祝日)

TEL : 06-6261-2631

FAX : 06-6261-1115

2. 宿泊のご案内

◎宿泊予約をご希望の方は申込書の宿泊欄に申込記号をご記入ください。

- ①旅行代金は、お一人様1泊税金・サービス料込みの宿泊代金です。
- ②宿泊設定日は平成25年9月8日(日)・9日(月)の2泊をご用意しております。
- ③ツイン・トリプルをご希望のお客様で同室を希望される場合は同室者氏名を必ずご記入ください。 ※トリプルは簡易ベッドが1台入ります。
- ④お申込順により、ご希望のホテルが確保できない場合がございますので、第2希望まで必ずご記入ください。
- ⑤朝食が不要な場合でもご返金はできません。予めご了承ください。

◎宿泊設定期間／平成25年9月8日(日)・9日(月)

No.	ホテル名	食事条件	部屋タイプ	旅行代金	申込記号	アクセスのご案内
1	リーガロイヤルホテル (ウエストウィング)	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥12,600	A-1	・会場直結 ・京阪中之島駅直結
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥12,600	A-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥10,500	A-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥10,500	A-4	
		1泊朝食付	トリプル(禁煙)	¥8,500	A-5	
		1泊朝食付	トリプル(喫煙)	¥8,500	A-6	
2	ホテルグランヴィア大阪	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥10,000	B-1	・JR大阪駅直結 ・会場～ホテル間 シャトルバス有り
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥10,000	B-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥7,500	B-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥7,500	B-4	
		1泊朝食付	トリプル(禁煙)	¥6,500	B-5	
		1泊朝食付	トリプル(喫煙)	¥6,500	B-6	
3	リーガ中之島イン	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥8,400	C-1	・会場まで徒歩約15分 ・会場までタクシー約3分
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥8,400	C-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥7,875	C-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥7,875	C-4	
4	ホテルNCB	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥7,980	D-1	・会場まで徒歩約5分
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥7,980	D-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥6,930	D-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥6,930	D-4	
5	ホテル阪神	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥10,500	E-1	・会場まで徒歩約8分
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥10,500	E-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥9,450	E-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥9,450	E-4	
6	アパホテル 大阪肥後橋駅前	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥8,400	F-1	・会場まで徒歩約15分 ・会場までタクシー約3分
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥8,400	F-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥7,800	F-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥7,800	F-4	
7	ハートンホテル 西梅田	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥9,500	G-1	・大阪駅シャトルバス乗り場まで 徒歩約3分 ・会場までタクシー約7分
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥9,500	G-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥8,400	G-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥8,400	G-4	
8	三井ガーデンホテル 大阪淀屋橋	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥7,800	H-1	・京阪中之島線・大江橋駅まで 徒歩約10分 ・大江橋駅から中之島駅まで2駅 ・会場までタクシー約10分
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥7,800	H-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥5,300	H-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥5,300	H-4	
9	アパヴィラホテル 淀屋橋	1泊朝食付	シングル(禁煙)	¥7,800	I-1	・京阪中之島線・大江橋駅まで 徒歩約10分 ・大江橋駅から中之島駅まで2駅 ・会場までタクシー約10分
		1泊朝食付	シングル(喫煙)	¥7,800	I-2	
		1泊朝食付	ツイン(禁煙)	¥7,300	I-3	
		1泊朝食付	ツイン(喫煙)	¥7,300	I-4	

※ツイン代金は2名1室でトリプル代金は3名1室でご利用の場合のお一人様の代金です。

3. 昼食のご案内 ※手配旅行契約にて承ります。

(1) 予約設定日／平成25年9月9日(月)・9月10日(火)

(2) 代金／1食につき、1,000円(お茶つき・税込)

大会会場の大阪国際会議場にはレストラン等もございますが、当日は混雑が予想されるため、お弁当のご予約をお勧めいたします。お弁当のお渡しは事前にお送りする「お弁当引換券」との引き換えになります。当日の弁当販売は行いませんのでご注意ください。

(3) お弁当の引換場所／場所未定

(4) 食事会場／大阪国際会議場館内「場所未定」

(5) 申 込／お弁当をお申し込みのお客様は申込書の弁当欄に○印をご記入ください。

4. 懇親会のご案内 ※弊社が申込受付ならびに参加費収受を代行させていただきます。

■参加費／お一人様 7,000円

■日 時／平成25年9月9日(月) 18:00 開始

■会 場／リーガロイヤルホテル タワーウイング3階「光琳の間」

住所：〒530-0005 大阪市北区中之島5-3-68

電話：06-6448-1121

■アクセス／会場直結

◎懇親会参加希望の方は、申込書の懇親会欄に○印をご記入ください。

5. 交通手配のご案内 ※手配旅行契約にて承ります。

JR券・航空券・高速バス等、全国から大阪までの交通機関につきましても、弊社でご手配をさせていただきます。交通手配をご希望のお客様は別紙のお申込書の「交通手配通信欄」に乗車日・列車名(便名)・乗車区間等をご記入ください。弊社からお申込案内確認のご連絡をさせていただきます。

6. 当日参加申し込みのご案内

◎参加種別及び参加費につきましては2ページ前の申し込みのご案内をご覧ください。

1日のみのご参加でも、所定の参加費を頂きます。

(1) 当日参加申し込みのご案内(初日)

■全体会日時／平成25年9月9日(月) 10:00 受付開始

(2) 当日参加申し込みのご案内(2日目、分科会より参加の場合)

■分科会日時／平成25年9月10日(火) 9:00 受付開始

7. お申込後の変更・取消料について

予約内容の取消・変更が発生した場合は下記の取消料を申し受けます。

(取消日は旅行開始日の前日から起算します。)

また、変更・取り消しなどにより、ご返金が生じた場合は大会終了後にご指定の口座へご返金処理をさせていただきます。

■参加費／懇親会／弁当

取消日	8日前まで	7日前～当日まで
取消料	無料	100%

■宿 泊

取消日	8日前まで	7日前 ～2日前まで	前日	当日 ※右記を除く	旅行開始後の取消 無連絡(不泊)
取消料	無料	旅行代金の 20%	旅行代金の 40%	旅行代金の 50%	旅行代金の 100%

■交通機関

取消料は各交通機関の定める払戻手数料、取消料を申し受けます。

8. 視察旅行のご案内

関西・大阪での大会開催を記念いたしまして、関西を楽しんでいただく日帰り・1泊旅行を企画いたしました。個人旅行では、体験することのできない特別プランをご用意しております。

●視察旅行に参加ご希望の方は、申込書の視察旅行欄に申込記号をご記入ください。

- ①全コースとも添乗員が同行いたします。
- ②旅程表に明示しました旅行代金は、昼食代金、交通費、入場料※及び諸税が含まれております。
※1泊2日コースの東大寺のみ含まれておりません。
- ③各コースともに最少催行人員30名に満たない場合は、中止または他のコースへの変更をお願いする場合がございますので、予めご了承ください。
- ④交通手段は全行程、貸切バスとなります。
- ⑤各コース共、代金は大人お1人様の代金です。
- ⑥ご参加のお客様には別途詳細スケジュールをご送付申し上げます。

【申込記号：A】大阪日帰りコース

堺の歴史探訪コース

～天下人、千利休、与謝野晶子らが歩んだ歴史・文化に触れてみよう～

◆旅行代金 大人・お一人様 6,500円【最少催行人員30名】添乗員1名同行いたします。

日次	行程	食事
9月10日 (火)	中之島 ===== 昼食 ===== 12:00 12:30 13:30	朝：－
	===== 妙國寺（入場）……………本願寺堺別院／覚応寺（入場） ===== 13:45 14:25 14:30 15:10	昼：○
	===== 千利休屋敷跡／与謝野晶子生家跡（入場） ===== 15:20 16:05	夕：－
	===== 与謝野晶子ゆかりの大寺餅河合堂（入場） ===== 新大阪駅 16:25 16:45 17:30頃	

記入例／JR ==== 航空機 —ト 私鉄 ++++ バス ===== 船 ~~~~ ケーブルカー +---+ ロープウェイ ~~~~ 徒歩 ……

お願い／このご旅程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況により多少時間が変更になる場合がございますので、お手数でも現地での出発時間をご確認下さい。

9. 近郊観光箇所のご案内

京都



(トロッコ列車)
JTBフォト

- 渡月橋（京都市）
嵐山の玄関口のような渡月橋。
渡月橋からの春の桜、秋の紅葉は有名です。
ホテル周辺からの交通（一例）
阪急梅田駅から乗車し桂駅乗換、嵐山駅下車
（所要約1時間）

- 清水寺（京都市）
音羽山、清水寺は本尊十一面千手千眼観世音菩薩を祀る西国三十三所観音霊場第十六番霊場として京都東山の中腹にあり、約13万平方メートルの寺域は、春は桜、秋は紅葉と四季の景観はすばらしいものがあります。
ホテル周辺からの交通（一例）
京阪中之島駅から乗車し清水五条下車（所要約1時間）

- 東映太秦映画村（京都市）
大オープンセットで繰りひろげられる劇場映画やテレビの人気番組の撮影風景、映画に関連した楽しい催しなど、生きた撮影所の魅力をたっぷり味わえます。
ホテル周辺からの交通（一例）
JR大阪駅から乗車し京都駅乗換、太秦駅下車（所要約1時間）

兵庫



(神戸の街並み)
JTBフォト

- 神戸南京町（神戸市）
日本三大中華街の一つとして数えられており、神戸を代表する中華のグルメ&ショッピングスポットです。
ホテル周辺からの交通（一例）
JR東西線新福島駅から乗車し元町駅下車（所要約30分）

- 神戸花鳥園（神戸市）
約16,000㎡の空調大ガラスハウスに、スイレン、ベゴニアなどの植物と、鳥類・魚類など生物とのふれあいを目的としたテーマパークです。
ホテル周辺からの交通（一例）
JR東西線新福島駅から乗車し三宮駅下車（所要約1時間15分）、その後、ポートライナー三宮駅から乗車し京コンピュータ前駅下車（所要約14分）

○ご注意○

- ・各観光箇所の営業時間などの詳細につきましては各自お調べ下さい。
- ・ホテルからの交通は全て一例を示したものでこの限りはありません。ダイヤ等は各自お調べ下さい。
また、記載所要時間はあくまで目安であり、ホテルからではなく、各乗車駅から下車駅までのものになります。

大阪



(天保山周辺)
JTBフォト

- 通天閣（大阪市）
明治45年、パリのエッフェル塔をお手本に建てられたのが通天閣です。浪速のシンボルとしてこの町を見守っています。
ホテル周辺からの交通（一例）
地下鉄肥後橋駅から乗車し大国町乗換、動物園前下車（所要約15分）

- 海遊館（大阪市）
環太平洋火山帯をコンセプトに太平洋の沿岸地域を再現し、5,400トンの世界最大級の水槽を中心に14の水槽を配置しています。それぞれの地域の自然環境を再現しています。
ホテル周辺からの交通（一例）
地下鉄肥後橋駅から乗車し本町駅乗換、大阪港下車（所要約20分）

- ユニバーサルスタジオジャパン（大阪市）
異なる表情を持つさまざまなエリアは、感動がいっぱいの別世界。子どもから大人まで楽しめる、ワールドクラスのエンターテインメントを集めたテーマパークです。
ホテル周辺からの交通（一例）
JR環状線福島駅から乗車し西九条駅乗換、ユニバーサルシティ駅下車（所要約25分）

奈良



(薬師寺)
JTBフォト

- 春日大社（奈良市）
神護景雲2年(768)創建。平城京の守護神、藤原氏の氏神として、古代には貴族の、中世には武神として武士の近世には民衆の信仰を集めました。宝物殿には数多くの宝物を展示。
ホテル周辺からの交通（一例）
JR環状線福島駅から乗車し奈良駅下車（所要約45分）

- 薬師寺（奈良市）
「法相宗 [ほっそうしゅう]」の大本山で、天武天皇により発願、現在は平成10年より世界遺産に登録されています。
ホテル周辺からの交通（一例）
JR環状線福島駅から乗車し鶴橋駅下車（所要約20分）、その後、近鉄鶴橋駅から乗車し西ノ京駅下車（所要約30分）

切り取り線

第6回全国精神保健福祉家族大会「みんなねっと大阪大会」参加・宿泊・懇親会・弁当等申込書 FAX送信先 06-6261-1115

都道府県名	大会参加証・宿泊クーポン等送付先	
所属団体グループ名	〒 - (勤務先・自宅)	
申込代表者名	フリガナ	
	TEL:	FAX:

No	フリガナ 氏名	年齢	性別	参加種別	希望分 科会	懇親会	弁当			宿泊			視察旅行	
							9/9	9/10	9/11	9/8 第1希望	9/8 第2希望	9/9 第1希望	9/9 第2希望	Aコース (日帰り)
例	オオサカ タロウ 大阪 太郎	50	男	家族 当業者 一般 行政 学生	第2希望 第1希望	9/9	9/10	9/11	A-1	B-1	A-1	B-1	○	○ ②の方と両 室/各1室
①				家族 当業者 一般 行政 学生										
②				家族 当業者 一般 行政 学生										
③				家族 当業者 一般 行政 学生										
④				家族 当業者 一般 行政 学生										

【交通手配欄】※JR券・航空券等のチケット手配をご希望の方は、下欄にご記入ください。

乗車日	便名(列車名)	乗車区間	発車時刻	申込者番号
住 路 /				
復 路 /				

【お客様通信欄】

【参加申込書送付先】

株式会社JTB西日本 大阪中央支店 大会デスク
担当/吉村和美(よしむらかずみ)・真芳樹(あずまよしき)
〒541-0055
大阪府大阪市中央区船場中央2丁目1番地
船場センタービル4号館3階(喫煙)
TEL:06-6261-2631
FAX:06-6261-1115

(JTB使用欄)
No.

※個人情報について・・・お預かりしました個人情報、個人情報保護法に基づき、漏洩、不正利用、改ざんなどのないよう適正な管理に努めます。また、保有の必要がなくなった個人情報については確実に速やかに消去いたします。

賛助会員の申し込み、出版物の注文は、FAXで！

「みんなねっと」の活動は、正会員（47都道府県の家族会連合会）と、賛助会員（全国に約13000人）からの会費によって支えられています。

あなたも賛助会員になって、当会の活動を応援してください。

また、当会の活動を財政的に支援する「特別賛助会員」も募集しています（年額一口5000円）。

- 平成____年度賛助会員申し込み に**V**チェックをしてください。
 （年度は4月～翌3月です。年度途中の場合は、4月号にさかのぼってお送りします）
- 個人賛助会員 3500円（月刊みんなねっとを毎月1冊お送りします）
- 団体賛助会員 3000円×（ ）人（2人以上）
 （月刊みんなねっとを毎月人数分まとめてお送りします）
- 特別賛助会員 5000円×（ ）口（1口以上）

わたしたち家族からのメッセージ 統合失調症を正しく理解するために（1冊200円）	冊
わたしたち家族からのメッセージ うつ病を正しく理解するために（1冊200円）	冊
家族相談ハンドブック （1冊700円）	冊
備考	

上記を注文します。

年 月 日

お名前 _____

ご住所 〒 _____

電話 _____

F A X _____

- ★全国精神保健福祉会までご注文をお送りください。
- ★本と郵便振込用紙をお送りします。必要書類（見積書・請求書など）や銀行振込などの場合は上記の備考欄にご記入ください。

公益社団法人 **全国精神保健福祉会**（みんなねっと）

〒170-0013 東京都豊島区東池袋1-46-13 ホリグチビル602

TEL 03-6907-9211 FAX 03-3987-5466

ホームページ <http://www.seishinhoken.jp>

公益社団法人全国精神保健福祉社会連合会・発行

「月刊みんなねっと」はこんな内容で毎月お届けします

賛助会員のみなさんに毎月お送りしています。

- 知っておきたい精神保健福祉の動き
- お知らせします みんなねっとの活動
- さまざまなテーマの特集
／家族のためのQ&A
- わかりやすい制度の話
- 連載 まちの診療所から
- 連載 統合失調症はどこまでわかったか
- 連載 エッセイ 絵を描く人たち
- 連載 マンガ 真澄こと葉のつれづれ日記
- みんなのわ (投稿紹介)



特集
グループホームでの暮らし

ひとりで暮らす不安、支援を受けながら地域の中で暮らしたいというときにグループホームがあります。長期入院していた人の退院後の生活の場としても活用されています。

グループホームで実際どんなふうに暮らしているのか、東京都八王子市の社会福祉法人マインドはちおうじのグループホームにうかが

いて、自分で持っていない人は、使うこともできます。交流室のスペースを一人一人に渡してあるので、いつでも利用できるようになっています。現在入居

精神疾患がある人や家族に役立つ出版物を発行しています

☆**家族相談ハンドブック**
A4判・76頁・定価700円(送料込)
家族会からの注文は1冊500円に割引
家族相談のテキストができました!
【内容】 家族による家族支援/精神障がい者の状況/精神障がい者家族の状況/家族相談の意義と特徴/家族相談の目標/家族相談の留意点/相談実習の進め方/家族相談の方法/新しく家族相談事業を立ち上げたいときは/家族相談員の養成/家族相談の事例



☆**シリーズ・わたしたち家族からのメッセージ A5判・定価200円(送料込)**
家族会や家族教室などのテキストとして全国各地で活用されています。



- 「**統合失調症を正しく理解するために**」(48頁)
【内容】 統合失調症はどんな病気か/統合失調症の経過と症状/治療とリハビリテーション/統合失調症の「障がい」とは?/家族の接し方・対応の仕方/生活を支援するサービス/暮らしに役立つ福祉制度/ほか
- 「**うつ病を正しく理解するために**」(56頁)
【内容】 私のうつ病体験記(本人の体験)/見守って将来の手助けをしてあげたい(母の体験)/細く長く、頑張りすぎないでいこうね(妻の体験)/うつ病の症状と治療(精神科医・仮屋暢聡)/家族の接し方・対応の仕方/生活を支える支援制度/ほか

※ご注文は、前のページのFAX用紙をご利用ください